



国土交通省 近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局

資料配布

配布
日時

平成30年6月13日

件

名

日本最大クレーン船で巨大ケーソンを据付

～柴山港 避難港整備のさらなる前進～

概

要

山陰東部に位置する柴山港（兵庫県美方郡香美町）では、日本海を航行する貨物船などが安全に避難できるように、防波堤整備を進めています。

この度、国内でも珍しい二重円筒ケーソンの9函目を、日本最大のクレーン船で吊り上げ、据え付けを実施します。

ケーソンの据え付けは、おおよそ4年に1回の周期で行われており、前回の据え付けは平成26年6月でした。

二重円筒ケーソンは直径29.4m、高さ26.5m、重さは7,100tあり、浮力を利用しながら沖合まで運び据え付けます。

【作業概要】（別添資料1参照）

○6月28日（木） 港内から沖合防波堤にケーソン据え付け

午前 4時頃 準備開始

午前 5時頃～午前 8時頃 柴山港沖へ出航

午前10時頃～午後 2時頃 柴山港沖へ設置

※海上悪天候の場合は据付工事を順延します。

【場所】兵庫県美方郡香美町香住区浦上75-2（別添資料2参照）

【取材について】

※取材中は自社腕章を必ず着用願います。

※取材は事前申し込みが必要です。事前申し込み無き場合は取材できません。別紙「取材要領」を参照してください。

申し込み期日：平成30年6月22日（金）17:00まで

取 扱 い

平成30年6月15日 14時00分 解禁

配 布 場 所

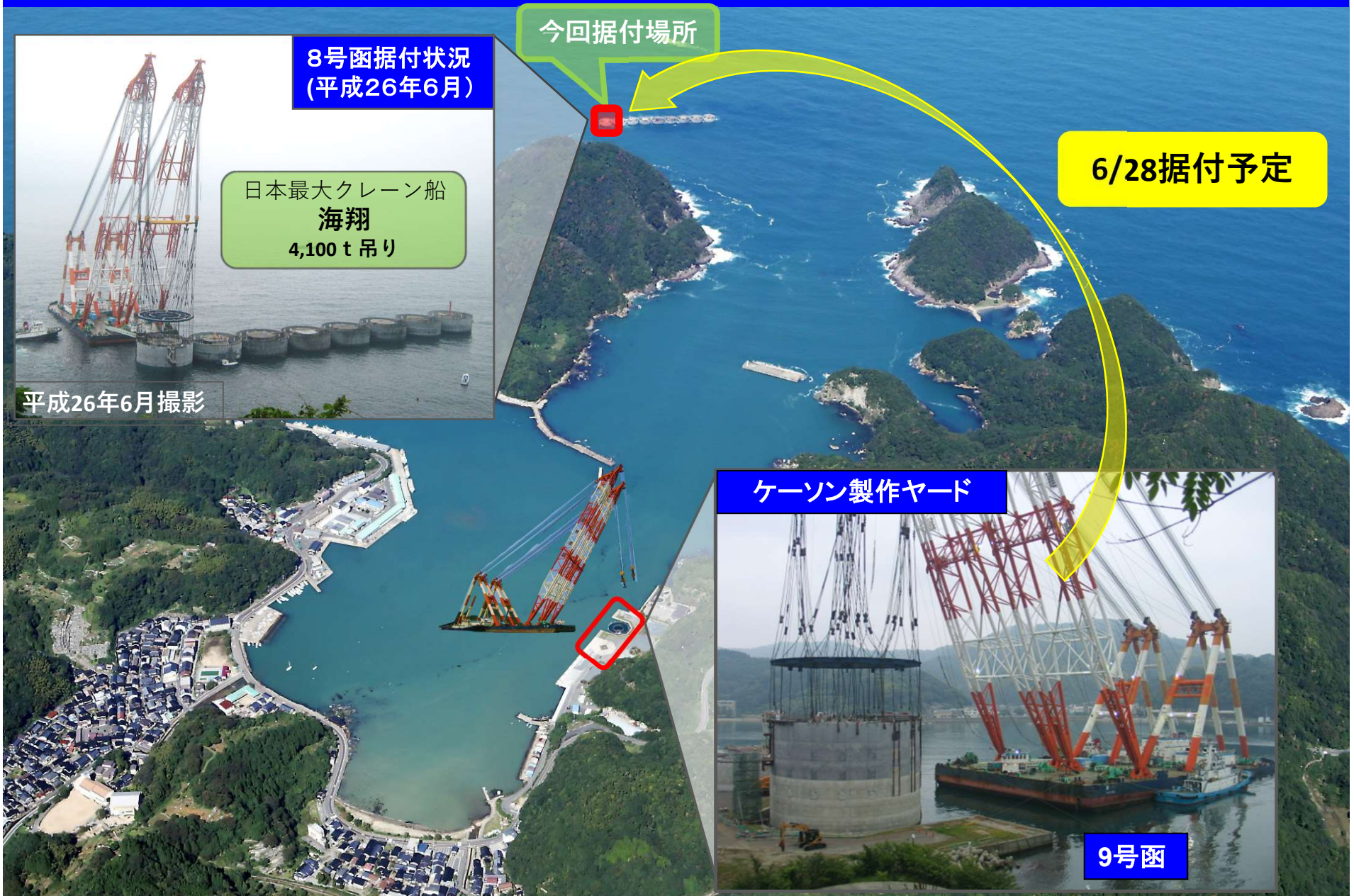
神戸海運記者クラブ、神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ、北丹記者クラブ

問 合 せ 先

近畿地方整備局 舞鶴港湾事務所
柴山港出張所 保全課長 山野 智志（ヤマノ サトシ）
TEL (0796-37-0091) FAX (0796-37-0186)

柴山港の現況と今回の作業内容

別添資料 1



8号函据付状況
(平成26年6月)

日本最大クレーン船
海翔
4,100 t 吊り

平成26年6月撮影

ケーソン製作ヤード

9号函

<事業概要>

天然の良港である柴山港は、昭和29年に避難港の指定を受け、湾内に防波堤の設置や泊地の整備などを行い小型船の避難が可能となるよう整備を行ってきました。

一方、山陰東部は、台風来襲時における中型船の適当な避難泊地がない為、現在その航行安全対策として外防波堤（西）の整備を進めています。

外防波堤（西）の全長は450mで、二重円筒ケーソンを15函据え付ける計画とし、現在は、240m（8函分）が完成しています。

<6/28の作業概要>

1) 防波堤の延伸

平成30年6月28日にケーソン（9号函）を据え付け防波堤を約30m延伸します。

（前回：平成26年6月18日に8号函据え付け）

柴山港のケーソンは国内でも珍しい二重円筒構造で、大きさは直径29.4m、高さ26.5m、重さは約7,100tもあります。据え付けは日本最大のクレーン船「海翔」（4,100t吊）で行います。

ケーソンは浮力を利用しながらクレーン船で吊り上げ、ゆっくりと柴山港沖合まで引き出し、据え付けます。

2) 次の延伸の準備

翌日には、陸上で製作途中のケーソン（10号函）を、クレーン船で吊り上げすぐ横の堀込ドックに移設し、来年度以降に完成させていきます。

<作業工程予定>

6月24日 起重機船団入港

6月25日～27日 ワイヤリング作業（ケーソンを吊るためのワイヤー準備）

⇒ 6月28日 9号函据付（ケーソンを吊り上げ、沖の防波堤へ据え付け）

6月29日 10号函移設（作業ヤード内の堀込ドックに移設）

7月 2日～3日 ワイヤリング作業（吊るために準備したワイヤーの取り外し）

7月 4日 起重機船団出港

※海上悪天候の場合は順延します。

（二重円筒ケーソンとは）

1. 円筒形（茶筒の様な形）

円形をしており、函型のケーソンと比べると波の力を分散して受けることにより、波力の大きい沖の防波堤を経済的に整備できます。

2. 二重円筒

壁面が二重になっています。波が二重円筒の外円筒に当たり、一部が外円筒の窓から侵入し、内円筒にぶつかった後に外円筒の港内側の窓から抜けていきます。この3段階のクッションを経ることで、消波機能が生まれます。

3. 海水交換機能

防波堤の沖側と港内側に窓があり、波を消す効果を持ちながら、外海の海水が防波堤背後の湾内へ入ることで海水の交換ができ水質の保全に役立っています。

4. 景観面の配慮

二重円筒ケーソン自体がデザイン性を持っています。国立公園内の景観を阻害しないよう配慮しています。

（なぜ柴山港で二重円筒ケーソン？）

防波堤の設置箇所の水深が約30m、最大波高が約10mもあり、通常の箱型ケーソンの場合、直波を受け止めるため超大型のケーソンと大量の消波ブロックが必要になり高価となってしまいます。また、防波堤背後の水質等や景観の配慮も必要で、これらの課題に対応する為、二重円筒ケーソンが採用されました。



取 材 要 領

1. 事前申し込みについて

当日取材を希望される方は、近畿地方整備局舞鶴港湾事務所柴山港出張所まで、FAXにて事前申込みをお願いします。事前申込みが無い場合は、取材ができませんのでご注意ください。

(1) 申込期日は、厳守でお願いします。(6月22日(金) 17:00迄)

・ 申込先 (FAX 番号) 0796-37-0186

※申込期日に間に合わない場合は、取材ができない場合があります。

(2) 別紙様式に以下の事項を記載して下さい。

- ・ 所属クラブ名
- ・ 会社名及び部署名、所在地
- ・ 取材者の役職・氏名 (取材者全員の役職・氏名を記載願います。)
- ・ 取材希望箇所
- ・ 車両ナンバー (タクシー・レンタカーを利用の場合はその旨を明記願います。)
- ・ 連絡先 (代表者1名で可)

2. 取材場所での留意事項について

<受付場所について>

- ・ 受付場所：近畿地方整備局 舞鶴港湾事務所 柴山港作業ヤード
住所：兵庫県美方郡香美町香住区浦上75-2 (別添資料2)
- ・ 受付時間：6:00～9:00
- ・ 陸上の撮影は受付終了後、自由に出来ますが、係員に声をかけてください。

<乗船スケジュールについて>

- ・ スケジュールは現在の予定ですが、当日時間の変更が生じる場合があります。

9:00～	9:10	工事説明
9:10～	9:15	乗船場所へ移動
9:15～	9:35	起重機船「海翔」及び海上ケーソン見学
9:35～	9:50	下船・10号函前移動
9:50		解散

<注意事項>

- ・ 当日は作業を実施中のため、多少作業工程に変更が生じる場合があります。
- ・ 取材中は安全のため、ヘルメット着用をお願いします。乗船中はライフジャケットの着用をお願いします。滑りやすい靴はご遠慮願います。
- ・ ヘルメット及びライフジャケットはこちらで準備いたします。

3. その他

- (1) 現地では、係員の指示に従って下さい。
- (2) 取材中は、身分証明書、自社腕章を必ず着用願います。

別紙

取材申込書

ケーソン据付工事
取材

取材を希望する場合は、この様式により、下記連絡先まで FAX でお申し込み下さい。

申込み締め切りは、6月22日(金) 17:00迄です。

申込み先 (FAX 番号) 0796-37-0186

所属クラブ (所属するクラブに○をつけて下さい)

- ・神戸海運記者クラブ
- ・みなと記者クラブ
- ・神戸民放記者クラブ
- ・北丹記者クラブ
- ・その他 ()

会社名及び部署名、所在地

取材者 役職・氏名 (全員の役職・氏名を記載願います。)

① (代表者) 車両No. _____

② 車両No. _____

③ 車両No. _____

④ 車両No. _____

※レンタカーやタクシーを利用する場合は車両No.の欄に「レンタカー」「タクシー」とご記入下さい。

連絡先 (代表者の連絡先)

上記のとおり取材を申し込みます。

近畿地方整備局 舞鶴港湾事務所 柴山港出張所 あて